

[1] タイヤに 0.5~1.0 気圧の空気を入れ、新しいリムに装着できることを確認します。

※仮装着をしたまま一日ほど置きタイヤをのぼすことで、接着する際の装着が楽になります。

[2] リムのタイヤ接着面を荒めの紙ヤスリで荒らします。

[3] リムに接着剤を薄く塗り、そのまま 24 時間乾燥させます。

[4] 乾燥した接着剤の上に再度薄く接着剤を塗り、もう一度 24 時間乾燥させます。

[5] 図のように、タイヤとリムの接着面同士がぴったり同じ形状である事を確認してください。同じであれば [6] へ。

※接着面の間に 1 mm 以上の隙間ができてしまう場合、空間を埋める為にリムより狭いリムテープを張る事で対応します。接着剤を塗り、細めのリムテープを貼ったら 24 時間乾燥させます。その後もう一度接着剤を塗り、24 時間乾燥させてください。

[6] タイヤに 0.5~1.0 気圧の空気を入れ、ベーステープ (タイヤ側の接着面) の上に接着剤を薄く塗ります。

[7] リム側の接着面にも接着剤を塗ります。

[8] タイヤをリムに乗せます。

※タイヤをしっかりとリムに押し付けます。この時バルブ位置を始点にして左右に、一周にわたり均等に力をかけるようにしていきます。

[9] タイヤに 2bar の圧力をかけます。

[10] タイヤがリムの中心に乗っているか確認してください。

※リムからベーステープがはみ出ている箇所が無いよう、しっかりセンターを出してください。

[11] サイドにはみ出した接着剤を布などで拭い取ってください。

※この時、パーツクリーナーや灯油などの揮発性油類、溶剤を使わないでください。

[12] その後 24 時間乾燥させたら接着完了です。

[13] 私たちはタイヤ側面の保護剤として、**Aquasure** の使用をお勧めしています。

※注 **トラックタイヤには使用しないでください。**

a) タイヤのサイドに Aquasure を手袋、歯ブラシなどを使って薄くレイヤー状に塗っていきます。

b) リムとタイヤの隙間にもまんべんなく塗り込みます。ブレーキ面をマスキングしておくときれいに仕上がります。

c) バルブ穴の周りにも塗り込んでおく事をおすすめします。

d) そのまま 10 時間乾燥させます。

